

神奈川シニア連合

機 関 紙

あゆみ

2025 年 9 月 17 日 (水) 第 112 号

■発 行 神奈川県退職者連合

■発行責任者 東谷裕明

■連絡先 〒231-0023

横浜市中区山下町 24-1 連合神奈川内

【TEL】 045-211-1133

【FAX】 045-201-8866

【E-mail】 Senior@rengo.or.jp

第 5 回幹事会

第 34 回総会議案書作成に向け論議



会議は、小野田 進幹事（UASENSEN）の開会と議長就任のあいさつで開会。鈴木会長は「(1)7月の参議院議員選挙勝利に向けた戦いに協力頂き感謝申し上げる。(2)自民党が総裁選挙を実施するとの報道。日本の進むべき道をキチッと示すとともに、高齢者が楽しく暮らせる社会を期待したい。(3)本幹事会で第34回総会議案書を提案するので、意見提起を願

神奈川シニア連合第5回幹事会は、9月10日15時00分から連合神奈川会議医師において開催し、第34回総会議案の作成、2026年度役員などについて論議しました。

うとあいさつ。続いて、連合神奈川安部副事務局長から「(1)7月の参議院選・横浜市長選への支援・ご協力に感謝。(2)11月6日に開催する第37回定期大会に向けた運動方針を9月執行委員会に提起予定。(3)2026年1月から導入される中

央会計制度により、組織人員が増加するものの財政状況は大変厳しく、組織の見直しなどが課題となる」などのあいさつを受けた後、東谷事務局長から報告された第4回幹事会（書面会議）以降の活動報告を承認。

協議事項では、(1)神奈

川シニア連合第34回総会議案書（案）の読み合わせを行い①修正意見は、10月1日までに事務局に届ける。②議案書は、6回幹事会議（10月15日）に最終決定するなど意思統一。③役員選考委員会から報告された、2026年度神奈川シニア連合への役員・幹事の派遣変更について確認しました。

神奈川シニア連合第34回総会告示

神奈川シニア連合第34回総会を次により開催するので、告示します。

記

1. 日時 2025年 11月21日（金） 13時00分

2. 場所 ワークピア横浜

3. 議事 (1)2026年度活動方針（案）について

(2)2026年度予算（案）について

(3)2026年度役員について

(4)その他

要請書提出

医療・介護保険の充実に向けて

神奈川シニア連合は、連合神奈川の協力を得て神奈川県・横浜市、川崎市に提出。9月29日には、相模原市に提出を予定しています。また、9月16日には、立憲民主党神奈川連合会 青柳陽一郎代表に要請書の前進に向けた支援要請を行い、9月25日には、国民民主党神奈川連合会 小粥康弘代表にも行うこととしています。

神奈川シニア連合は、第4回幹事会（書面会議）の意思統一に基づき、6項目23点の2025年度「医療・介護制度の充実」等に関する要請書を提出しました。

○8月18日 川崎市
○8月20日 横浜市



神奈川県への提出



横浜市への提出



川崎市への提出

○8月27日 神奈川県
鈴木会長は、要請書提出にあたり「①日頃、県民・市民が安心して暮らせる街づくりに敬意を表する。②シニア連合の要請書提出に真摯な対応を頂き感謝する。③高齢者が生活するには、厳しい問題が山積している。厚生労働省も一人暮らしの高齢者に対する事業・施策の検討をする方向を示している。⑤要請書の内容を検討頂き、高齢者が安心して暮らせる街づくりを願う」とあいさつ。続いて、東谷事務局長が

ら「①「重層的支援体制整備事業」の研修状況になどについて。②「訪問

介護の基本報酬切り下げ」は、国に対し速やかに復元・改善を求めること。③認知症施策基本計画は、理解するものの個人情報により認知症の人が明らかにできないなど、地域での認知症の人の把握と諸施策の実施への指導を願う。④入院時に「身元保証人」の書類提出を求められるが、保証金などによる対応へと

制度変更を検討されたいなどの4点について強調・説明しました。各自自治体からは「提出された要請書の内容は、各担当で鋭意検討し今後の施策展開に向け参考にしたい。強調された4点については、別途回答する」とのことであり、回答については、屈き次第幹事会に提示し、論議することとします。

夏季ボランティア

「フードバンクかながわ」

神奈川シニア連合は、8月19・21・22日の3日間、役員と会員24人が「フードバンクかながわ」において食料品の検品・仕分けの夏季ボランティアを実施しました。

「フードバンクかながわ」でのボランティアは、2022年から毎年年明けと旧盆が過ぎた時期に行っています。担当者の話では「今年は、米の高騰や物価高などから、寄贈食品も不足気味で米の購入なども行った。8月になり少しずつ寄贈食品も増加傾向にある」とのことでした。

神奈川シニア連合は、今後も寄贈食品の検品・仕分け作業、賞味期限2か月前の食品の寄贈に向けて積極的に取り組みますので、役員・会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

